

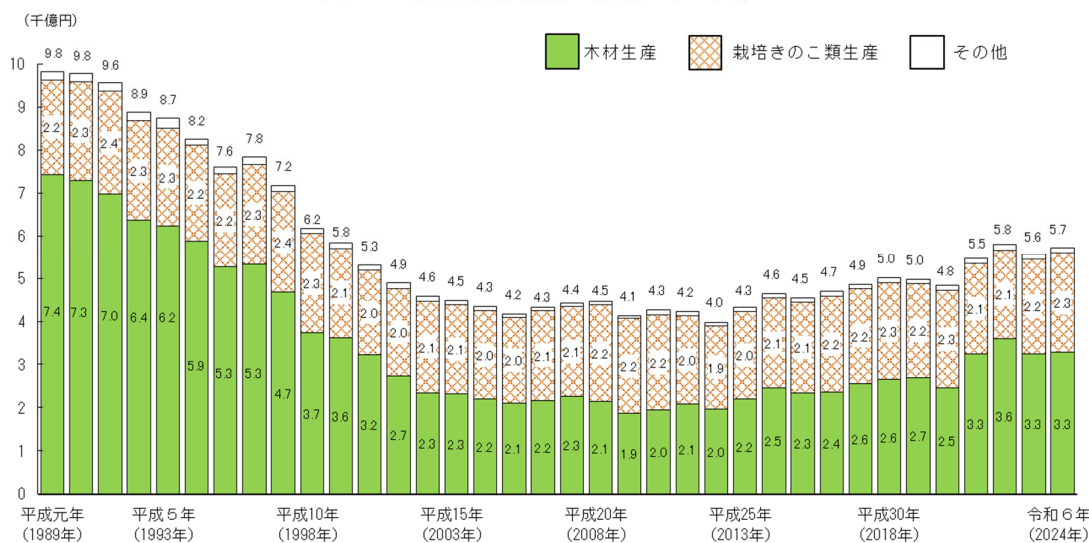
令和6年 林業産出額

令和6年の林業産出額は、栽培きのこ類の価格の上昇や燃料用チップ素材の生産量の増加等により、5,713億円となり、平成25年以降増加傾向で推移している。

【統計結果の概要】

令和6年の林業産出額は、栽培きのこ類の価格が上昇したことや燃料用チップ素材の生産量が増加したこと等により、前年に比べて160億円（2.9%）増加の5,713億円となった。

図1 林業産出額の推移（全国）



注：「その他」とは薪炭生産及び林野副産物採取である（図2において同じ。）。

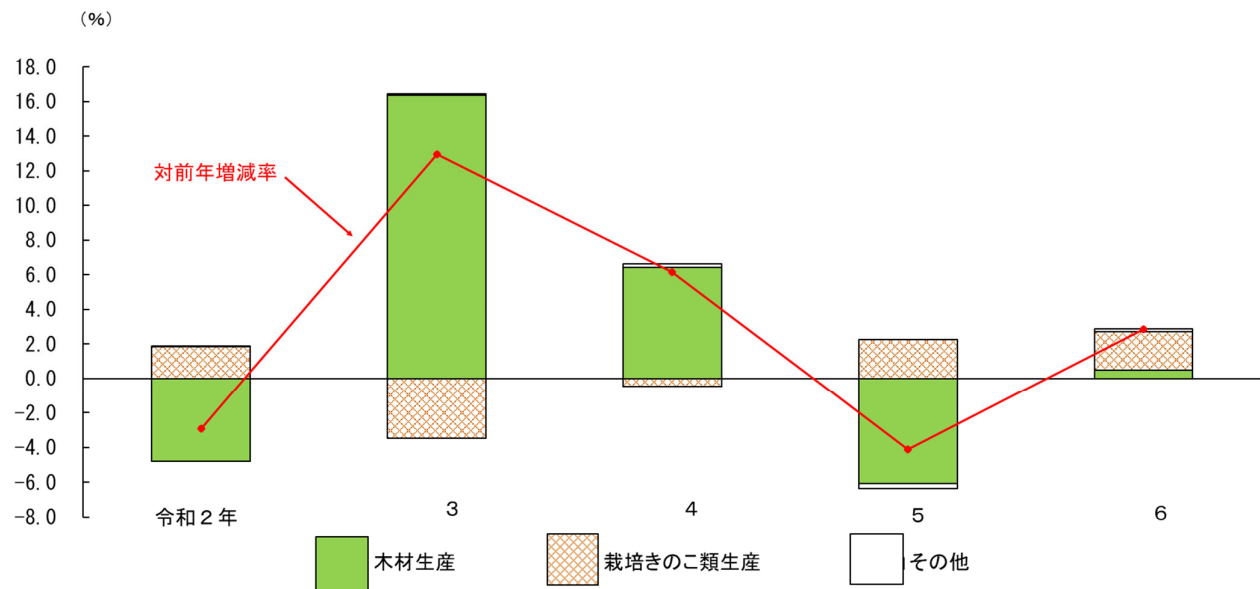
表1 林業産出額（全国）

区 分	令和5年	6		
		実数	構成割合	対前年増減率
林 業 産 出 額	億円	億円	%	%
木 材 生 産	5,553.3	5,713.1	100.0	2.9
うち、製材用素材等	3,250.3	3,276.4	57.3	0.8
燃料用チップ素材	2,490.9	2,386.8	41.8	△ 4.2
栽培きのこ類生産	588.2	695.6	12.2	18.3
薪炭生産	2,198.1	2,322.7	40.7	5.7
林野副産物採取	70.3	70.9	1.2	0.9
	34.5	43.1	0.8	24.9

注：1 表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

2 「林野副産物採取」にはまつたけ、野生鳥獣、野草等を含む。

図2 林業産出額の対前年増減率と部門別寄与度の推移



【関連データ】

主要林産物の輸出額の推移

区分	令和2年	3	4	5	6	
					実額	対前年増減率
	億円	億円	億円	億円	億円	%
農林水産物 計	9,256.5	11,626.0	13,372.1	13,579.9	14,092.0	3.8
林産物 計	429.1	569.8	637.6	620.7	667.2	7.5
うち 素材(丸太)	163.4	210.6	205.6	231.1	282.3	22.2
製材・加工材	70.4	103.5	98.4	70.6	81.1	14.9
合板、単板その他 積層木材	61.8	81.2	118.2	105.4	78.2	△ 25.8
きのこ類	8.5	10.3	11.1	10.9	10.1	△ 7.3

資料：農林水産省輸出・国際局「農林水産物輸出入概況」

注：1 金額は、FOB価格（Free on board、運賃・保険料を含まない価格）である。

2 対前年増減率は、原数値（千円単位）で算出した数値である。

【統計結果】

1 木材生産

令和6年の産出額は、前年に比べ26億円（0.8%）増加し、3,276億円となった。

これは、製材用材の生産量が減少したものの、燃料用チップ素材の生産量や輸出丸太が増加したこと等が寄与したものと考えられる。

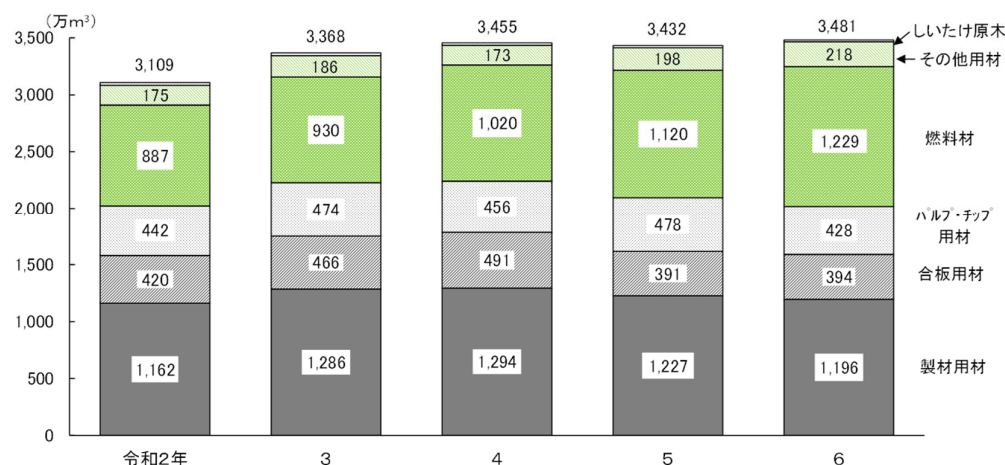
表2 木材生産の産出額の推移（全国）

区 分	令和2年	3	4	5	6	
					実額	対前年増減率
	億円	億円	億円	億円	億円	%
木 材 生 産	2,462.3	3,252.0	3,602.6	3,250.3	3,276.4	0.8
製 材 用 素 材 等	1,953.3	2,674.5	2,937.9	2,490.9	2,386.8	△ 4.2
輸 出 丸 太	123.9	163.3	169.7	171.3	194.1	13.3
燃 料 用 チ ッ プ 素 材	385.1	414.2	495.1	588.2	695.6	18.3

注： 製材用素材等の産出額には、合単板工場へ直接入荷される合板等用素材及びパルプ工場へ直接入荷されるパルプ用素材の産出額を含む。

【関連データ】

木材の国内生産量の推移

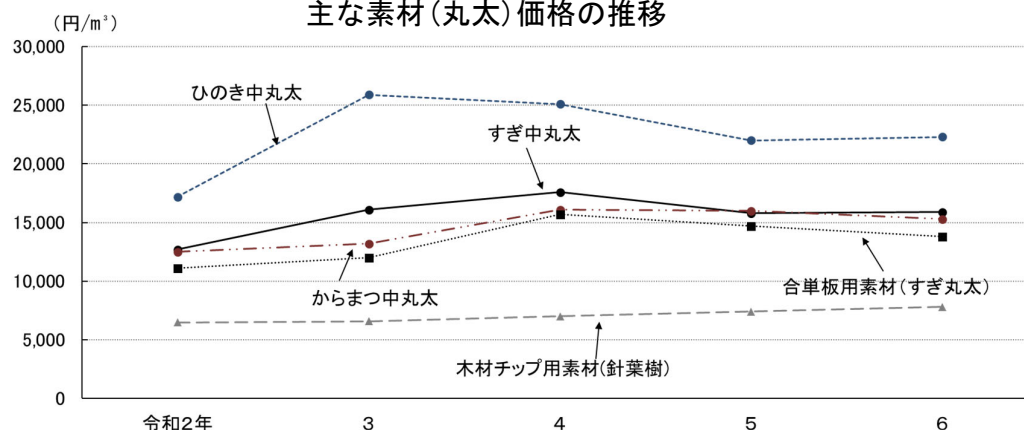


資料：林野庁「木材需給表」

注：1 総需要量のうち国内生産されたものの量である。

2 合板用材は、薄板、単板、ブロックボード、LVL 等である。

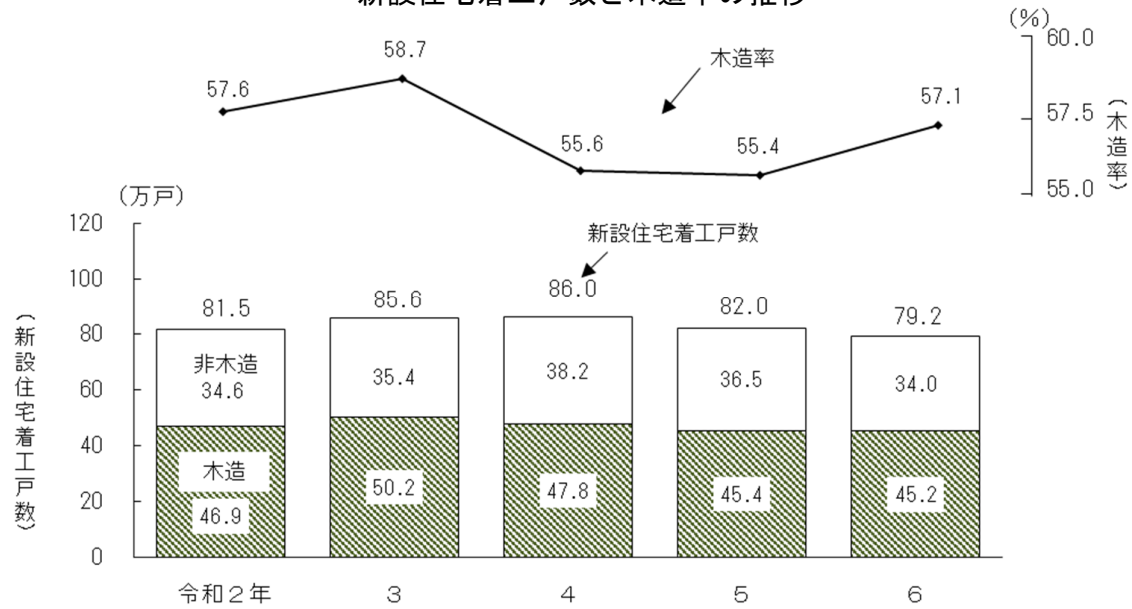
主な素材（丸太）価格の推移



資料：農林水産省統計部「木材需給報告書」

注： すぎ中丸太は径 14.0～22.0cm、長 3.65～4.0m、ひのき中丸太は径 14.0～22.0cm、長 3.65～4.0m、からまつ中丸太は径 14.0～28.0cm、長 3.65～4.0m のものである。

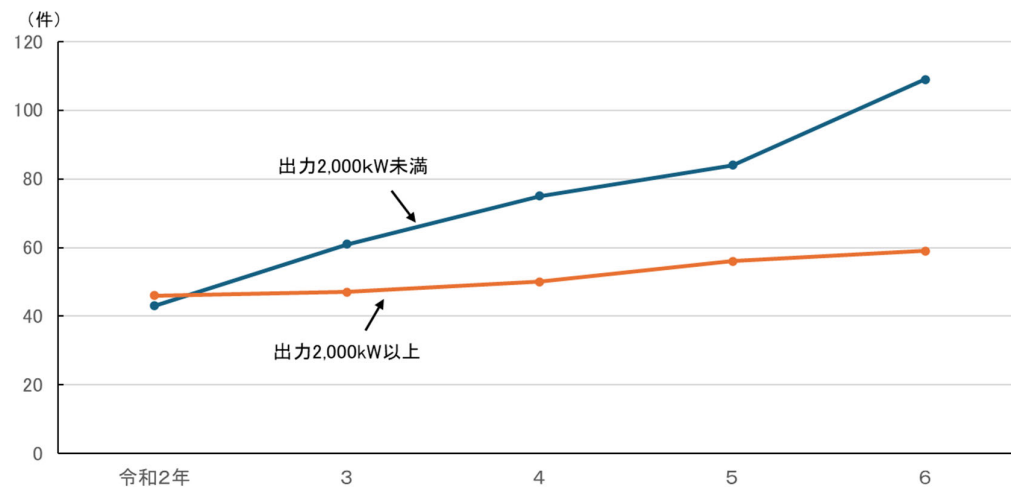
新設住宅着工戸数と木造率の推移



資料：国土交通省「住宅着工統計」

注：木造率は、原数値（戸）で算出した数値である。

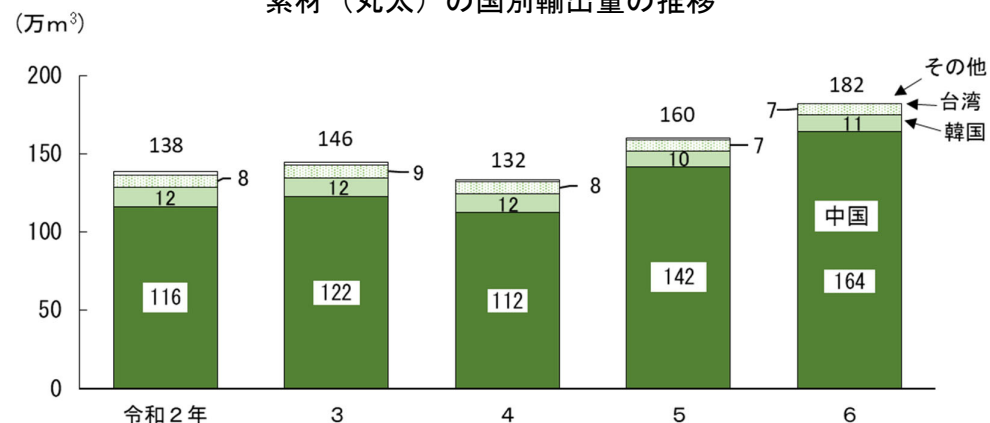
木質バイオマス発電設備導入件数の推移



資料：再生可能エネルギー電子申請サイト (<https://www.fit-portal.go.jp/>) より作成

注：木質バイオマス発電設備とは、FIT・FIP認定を受けた稼働済のバイオマス発電施設のうち主に未利用木質を使用するもの。

素材（丸太）の国別輸出量の推移



資料：農林水産省輸出・国際局「農林水産物輸出入概況」

2 栽培きのこ類生産

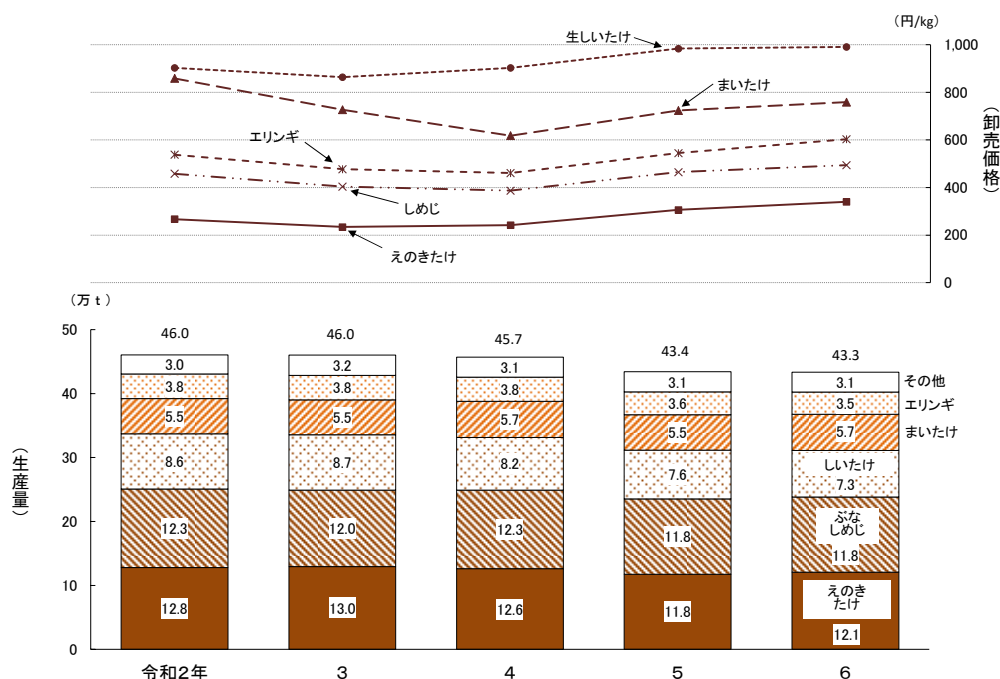
令和6年の産出額は、前年に比べ125億円（5.7%）増加し、2,323億円となった。
これは、需要に応じた生産により価格が堅調に推移したこと等が寄与したものと考えられる。

表3 栽培きのこ類生産の産出額の推移（全国）

区 分	単位	令和2年	3	4	5	6
実 額	億円	2,259.3	2,091.3	2,066.4	2,198.1	2,322.7
対前年増減率	%	4.3	△7.4	△1.2	6.4	5.7

【関連データ】

きのこ類の生産量及び卸売価格の推移



資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査」、「特用林産物生産統計調査」及び東京都中央卸売市場「市場統計情報（月報・年報）」

注：1 えのきたけ、しめじ及び生しいたけの卸売価格は、青果物卸売市場調査における主要な青果物卸売市場から推計した全国の平均価格、しいたけ及びエリンギの卸売価格は、東京都中央卸売市場年平均価格である。

2 ししいたけの生産量は、生しいたけと乾しいたけ（生換算）の合計である。

3 生産量のその他は、なめこ、ひらたけ、まつたけ及びきくらげ類である。

3 都道府県別林業産出額

令和6年における林業産出額の上位5都道府県は、長野県が659億円（対前年増減率8.5%増加）、新潟県が496億円（同5.0%増加）、北海道が408億円（同6.1%減少）、宮崎県が288億円（同2.4%減少）、岩手県が185億円（同3.6%減少）の順となった。

表4 林業産出額の上位5都道府県

都道府県	令和2年	3	4	5	6						
					実数	構成割合	対前年増減率	1位部門		2位部門	
								部門	実数	部門	実数
都道府県計	億円	億円	億円	億円	億円	%	%		億円		億円
都道府県計	4,286.1	4,839.1	5,085.7	4,748.4	4,769.8	100.0	0.5	木材	2,369.4	栽培きのご類	2,322.7
うち長野	598.2	577.8	574.4	607.5	659.4	13.8	8.5	栽培きのご類	584.3	木材	64.5
新潟	481.0	441.9	440.5	472.3	496.1	10.4	5.0	栽培きのご類	484.8	木材	10.2
北海道	387.7	416.0	479.2	434.0	407.6	8.5	△ 6.1	木材	319.0	栽培きのご類	81.0
宮崎	255.0	372.2	335.5	294.5	287.5	6.0	△ 2.4	木材	235.0	栽培きのご類	50.5
岩手	178.2	193.1	243.9	192.3	185.3	3.9	△ 3.6	木材	139.9	栽培きのご類	39.6

注： 都道府県別産出額には、全国値に計上する木材生産におけるパルプ工場へ直接入荷されるパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額、薪炭生産におけるまきの産出額、林野副産物採取における木ろう及び生うるしの産出額を計上しない。また、全国値には計上しない木材生産における他都道府県に販売されたしいたけ原木の産出額を計上する（以下同じ。）。

表5 木材生産の産出額の上位5都道府県

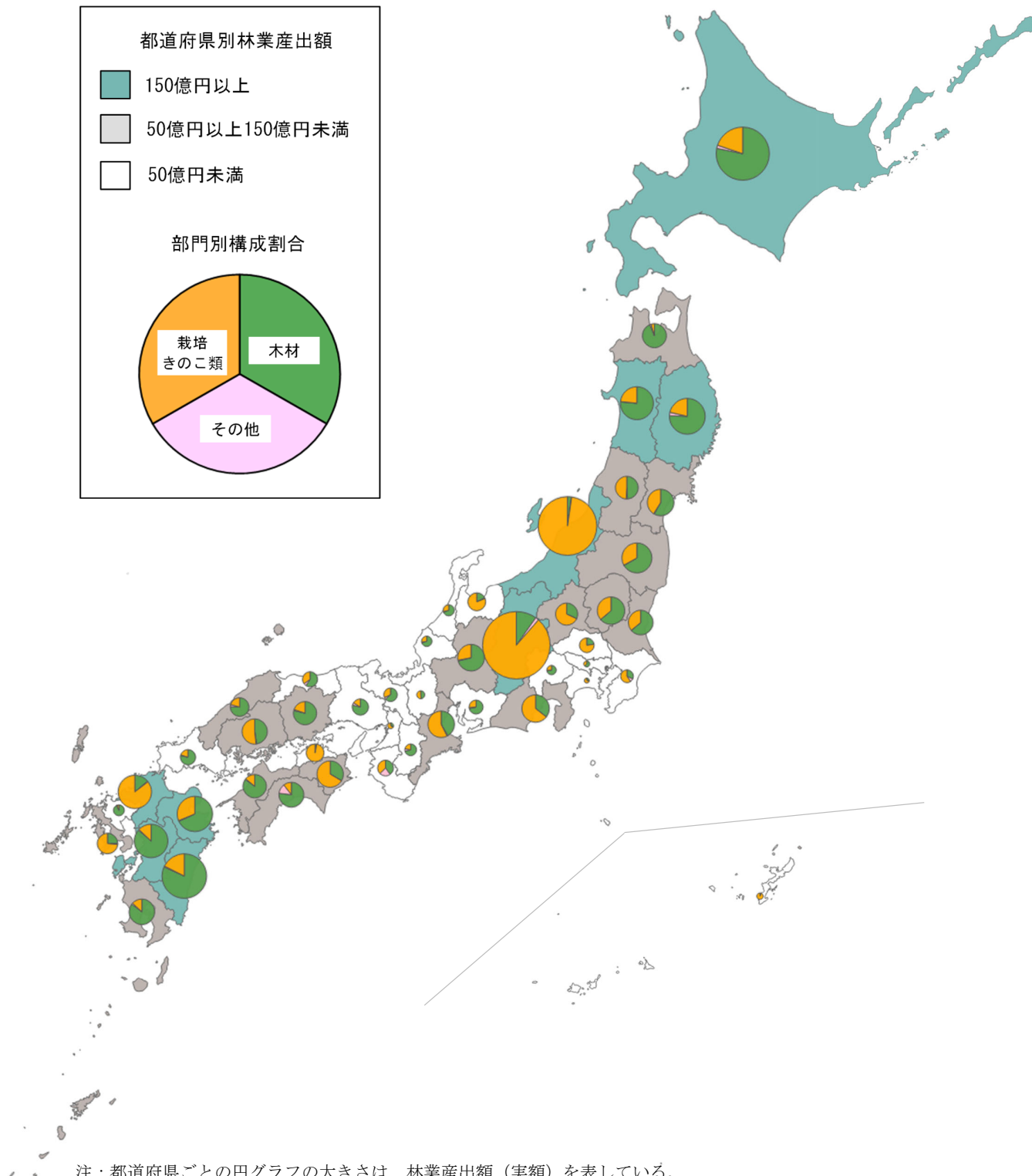
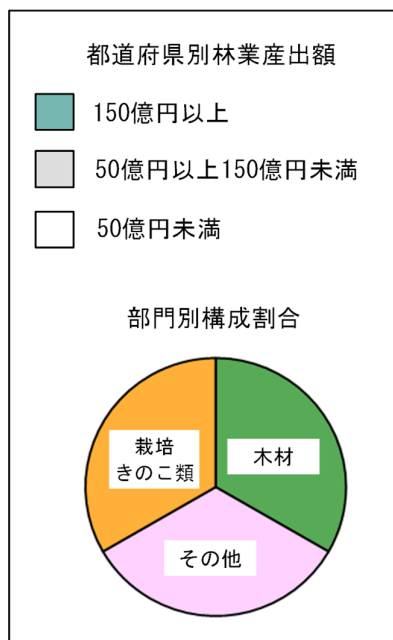
都道府県	令和2年	3	4	5	6		
					実数	構成割合	対前年増減率
	億円	億円	億円	億円	億円	%	%
都道府県計	1,943.7	2,665.5	2,928.2	2,481.0	2,369.4	100.0	△ 4.5
うち北海道	279.3	314.5	384.3	349.5	319.0	13.5	△ 8.7
宮崎	197.7	321.7	282.8	243.9	235.0	9.9	△ 3.6
熊本	114.2	168.4	159.9	144.1	140.4	5.9	△ 2.6
岩手	130.7	149.8	201.1	148.6	139.9	5.9	△ 5.9
大分	103.8	170.9	160.4	135.6	122.9	5.2	△ 9.4

表6 栽培きのご類生産の産出額の上位5都道府県

都道府県	令和2年	3	4	5	6		
					実数	構成割合	対前年増減率
	億円	億円	億円	億円	億円	%	%
都道府県計	2,259.3	2,091.3	2,066.4	2,198.1	2,322.7	100.0	5.7
うち長野	545.6	502.3	487.0	540.8	584.3	25.2	8.0
新潟	469.4	427.0	418.4	457.3	484.8	20.9	6.0
福岡	125.7	110.9	106.4	129.3	137.5	5.9	6.3
北海道	96.9	90.6	79.1	76.7	81.0	3.5	5.6
静岡	84.5	72.9	66.9	72.2	69.8	3.0	△ 3.3

図3 都道府県別林業産出額及び部門別構成割合

(凡例)



注：都道府県ごとの円グラフの大きさは、林業産出額（実額）を表している。

【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&lid=000001475284>

【統計の概要】

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/ringyou_sansyutu/gaiyou/

【統計結果の主な利活用】

- ・ 林業諸施策全般の策定・評価等の資料
- ・ 国民経済計算、産業連関表、県民経済計算等の作成のための資料
- ・ 激甚災害制度における激甚災害指定基準のための基礎資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「森林、林業」の「林業産出額」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/ringyou_sansyutu/#r

また、順位等に関する情報は、MAFF 統計ダッシュボードの分野別分類「森林・林業」から御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/dashboard/data/ringyou_sansyutu.html

- ・ 本資料の推計に用いた一次統計が訂正された場合は本資料の数値も修正することとし、修正値はホームページに掲載します。

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

経営・構造統計課 分析班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3635

（直通）03-6744-2042

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589

（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データの力で。

農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries